

紫峰の風

shihou no kaze



筑波大学
University of Tsukuba
第9号 2018年7月

「紫峰の風」は学生生活の様子や活動の報告を紫峰会基金協力者の皆様にお届けする広報誌で、紙面の企画や記事の取材等は学生広報会議や広報部会の学生が実施しています。この名称には「筑波の峰から吹き降りる風に、我々の活動への想いを乗せて、全国の皆さまのもとへお届けする」という意味が込められております。



第42回春季スポーツ・デー集合写真

学生委員会企画のミニバスケット

学生委員会企画のチャンバラ合戦

開会式での応援部WINSパフォーマンス

新企画バブルサッカー

学生委員会企画のミニサッカー

第42回春季スポーツ・デーを終えて

皆様、こんにちは。第42代スポーツ・デー学生委員会委員長の大山隆廣です。5月12、13日に開催されました第42回春季スポーツ・デーでは、2日目の途中雨天にも関わらずたくさんの方に参加していただきました。皆様のご支援ご協力により、春季スポーツ・デーを大成功に終わられたこと誠に感謝いたします。

春季スポーツ・デーでは、新企画としてバブルサッカーを開催いたしました。セキショウフィールドにて1日目のみの開催でしたが、多くの参加者の皆様にまたやりたいなどご好評いただきました。これらの新企画もたくさんのご支援のもとで開催できていることを肝に銘じ、秋季スポーツ・デーでも新企画を開催でき

ればと考えております。

皆様への感謝の気持ちを忘れず、秋季スポーツ・デーに向けて委員一丸となっていきますので今後ともご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。

(寄稿/第42代スポーツ・デー学生委員会委員長 大山隆廣・数学3年)

今後の主な予定 (変更になる場合があります)

春ABCモジュール期末試験	8月1～7日
同(東京キャンパス・夜間)	7月24～25日、8月2～4日
春学期授業終了	8月7日
同(東京キャンパス・夜間)	7月28日
期末試験予備日	8月8日
同(東京キャンパス・夜間)	7月31日、8月1日
夏季休業	8月9日～9月30日
同(東京キャンパス・夜間)	8月5日～9月30日
卒業式・大学院学位記授与式	9月25日
秋学期入学式	9月28日
秋学期授業開始	10月1日
同(東京キャンパス・夜間)	10月2日
学園祭	11月2～4日
秋季スポーツ・デー	11月17日、18日

—内容—

キャンパスニュース、留学情報	1頁
就職特集：平成29年度卒業生の進路状況 学生相談室から、桐の葉日記、お知らせ	2頁
大学広報物のリンク集	
特集：筑波大生の夢	3頁
文サ連、芸サ連、全代会、体育会活動紹介	3、4頁
学生の一週間	4頁

キャンパスニュース



宿舎祭実行委員による前夜祭パフォーマンス

模擬店企画

ゆがたコンテストグランプリの体育専門学群

津軽三味線倶楽部無絃塾による、開会式パフォーマンス

パフォーマンス賞を受賞した比較文化学類の御輿

紫峰会基金援助金目録贈呈

前夜祭での火文字「仁」

メインステージでの体操部のパフォーマンス

模擬店企画の電球ソーダ

宿舎祭を終えて

宿舎祭(通称やどかり祭)は今年で44回と、形を変えながらも大学とほぼ同じ歴史を歩んできました。今年は前夜祭・本祭ともに天候に恵まれ、企画も模擬店もすべて順調に進めることができ、皆様に楽しんでいただけたのではないかと思います。

我々宿舎祭実行委員会は、入学したばかりの新生に交流の場を設けたいという想いでやどかり祭を作っています。閉会宣言をした時に新生

の笑顔を見ることができ、実行委員長としてこの上ない喜びを感じました。新入生が、この祭を通してできた仲間と共に、今後の大学生活を楽しんでいただければ、これほど嬉しいことはありません。最後に、第44回やどかり祭の成功は紫峰会基金をはじめとする多くの方々にご支援ご協力頂いたおかげです。ありがとうございました。

(寄稿/第44回宿舎祭実行委員会委員長 上田悠登・知識3年)

安全管理・危機管理

本学では、海外研修やインターンシップなど短期間から長期間に渡るものまで、海外へ渡航するさまざまな機会を学生に提供して、留学の促進を図っております。

グローバル・コモンズ機構では、学内の関係組織と連携して、海外での危機管理体制を整備・強化するとともに、学生が、安全かつ充実した留学期間を過ごすことができるよう、事前オリエンテーションの実施や留学中の相談対応、そして帰国後のフォローアップなど、以下のような様々な取り組みを実施しています。

1 安全情報の把握と渡航に関する措置について

2 海外渡航届のオンライン提出

3 海外旅行保険・留学保険

4 健康管理・感染症対策

5 外務省への届け出「たびレジ」「在留届(ORRnet)」

6 海外安全危機管理サービス OSSMA

7 筑波大学生のための海外安全ハンドブック

8 滞在中の危機管理

9 Emergency Contact Card (緊急連絡カード)

海外渡航にむけたチェックリスト

危機管理の観点から海外渡航前に最低限おさえておくべき項目をまとめました。参加するコースやプログラム旅行形態等によって必要な諸手続きは様々ですので、詳細は別途事前に確認しましょう。

★出発前

(危機管理・健康管理関係)

- 外務省の海外安全ホームページなどで渡航先の最新の安全情報を確認する
- 本学の「海外での危機発生時における学生及び教職員の渡航に関する指針について」(学長決定)を確認する
- 健康状態のチェック(必要な場合は予防接種、健康診断、歯科治療等の受診を検討)をする
- 緊急連絡先リストを作成し現地に持参するほか、家族や大学関係者等の必要な方へ共有する(渡航手続き関係)
- パスポート、航空券、ビザ、その他の渡航手続き(パスポートやビザは有効期限も事前に確認)

□筑波大学へ海外渡航届の提出(オンライン提出)

□海外旅行保険・留学保険への加入

□外務省のたびレジへの登録(3ヶ月以上滞在の場合は、現地に到着後に在留届の提出)

□海外安全危機管理サービス(OSSMA)への加入

★現地到着直後

□現地滞在先の住所や電話番号を、家族や大学関係者等の必要な方へ連絡する

□留学の場合は留学先の大学・機関でオリエンテーション等があれば参加する。

★滞在中

- 渡航国・地域の法律・規則に従うことは勿論のこと、現地社会の習慣や宗教上の制約などを十分に理解した行動を心がけること
- 危機情報を収集し、危険な場所や地域には立ち寄らない
- 緊急時の連絡先(電話番号、メールアドレス等)を常に所持しておく
- 滞在中も継続的に、家族や大学関係者等の必要な方への定期連絡を心がける

4月12日に、毎年行われている文化系サークル合同新歓(新入生歓迎の略)が開催されました。18時30分~20時までの間第二エリア食堂を貸し切って、たくさんの新入生が豪華なオードブルを囲みました。この合同新歓では、文化系サークル連合会に所属している団体が参加し、それぞれのブースで個性豊かに新歓活動を行います。今年も23団体が参加し、とても賑やかな会となりました。各ブースで何をするかはサークル次第。活動の様子をスクラップブックして綺麗にまとめて紹介している団体や、ボードゲームなどの活動を実際に新入生に体験してもらう団体などがあり、新入生たちも真剣に、楽しく先輩たちと話をしている様子でした。また、ブースでの紹介だけでなく、パフォーマンスを披露する団体もありました。現代視覚文化研究会の披露した息の合ったダンスでは、新入生だけでなく、他のサークルのメンバーたちを巻き込んで会場全体が盛り上がりました。数多くの団体が活動しているこの筑波大学で、どのサークルに所属するかを選ぶのは、新入生にとっては大変悩ましいことでしょう。私自身、どのサークルの新歓に行こうか毎日悩んでいました。今回の合同新歓が、サークル選びに悩む新入生がたくさんのサークルについて知ることができる良い機会になっていたら幸いです。

(寄稿/文サ連企画局 黒澤美玖・社会学2年)



文化系サークル連合同新歓の様子

4月15日に芸術系サークル(以下、芸サとする)合同新歓が行われ、芸術系サークル連合会に所属する団体のうち27団体が参加しました。今年も天候が悪く、当初予定していた松美池前でのステージ発表を中止し、すべての企画を1C棟で実施することになりましたが、無事に終えることができ本当に良かったです。芸サ合同新歓では、3階と4階の2教室を使ってステージ発表をし、4階と5階の4教室を使ってブース企画を実施しました。ステージ発表では、参加した団体がそれぞれ独自のパフォーマンスを行い、新入生を楽しませていました。ブース企画では、小さなブースに分かれ、各々のサークル活動について熱心に新入生に伝えていました。用意していたパンフレットもほぼなくなり、とても多くの新入生がこの芸サ合同新歓に参加し、楽しんでくれたようです。この新歓が、新入生のサークル選びに少しでも役立ってくれたなら嬉しく思います。

(寄稿/芸サ連企画局長 永島瑞希・社会学2年)



楽器の演奏を体験する新入生

4月6日の入学式及び新歓本祭後、18時30分より第二エリア食堂にて体育会合同新歓が行われました。体育会に所属する多くの団体が一堂に会し、新入生の歓迎及び団体への勧誘活動を行う本企画に今年度は34もの団体の協力に加え、200人以上の新入生が参加してくれました。部活動やサークル団体に所属しての課外活動は人によっては大学生活の中で学業に等しいほどの大きな割合を占めるものとなることでしょう。本企画への参加によって新入生の選択肢の幅が広がり、それぞれが自分の望む体育会団体に加入することで皆さんの大学生活をより豊かにすることができたのであれば企画者としては嬉しい限りです。

(寄稿/体育会企画局長 岩崎幹生・体育専3年)



体育会合同新歓の様子(窓側に座るのが体育会団体)

就職特集 学生部就職課

平成29年度卒業生の進路状況

平成29年度の学群卒業生数は、2,283名でした。うち約42%が大学院への進学、48%が就職（研修医含む）、10%がその他（資格・採用試験準備等、帰国）でした。詳細は、「卒業生・修了者の進路状況」を参照してください。

筑波大学では、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター（以下、DACセンター）と学生部就職課が連携し、支援活動をしています。

DACセンターに各教育組織の就職担当教員によるキャリア支援担当教員会議を設置し、各教育組織と連携して支援環境やネットワーク構築を行い、きめ細かな学生支援を目指しています。また、大学生活を有意義に過ごし自分に気づく機会となるよう、総合科目「キャリアデザインー働く自分ー」及び「Career Development in Global Context」を開講し、来たる就職活動における自己分析にも役立つよう支援しています。なお、従来にも増して学生の希望に応じた就職ができるよう、就職課を中心に企業・団体、教育委員会・人事委員会からの情報収集、就職ガイダンス・模擬試験等を実施しております。さらに、就職課に併設した「就職資料コーナー」では、各種資料や情報を提供するとともに、企業の採用活動や学生の就職活動に対応した学生部就職課ホームページ（http://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/）を運営しています。また、就職課に就職相談室を設け、年間を通していつでも学生の就職相談に応じています。また各種就職ガイダンスを実施しておりますので、掲示及び学生部就職課ホームページで、日程及び内容を確認の上、御子息・御息女様に参加されるようお勧めください。

就職の動向について（企業・団体）

近年の人手不足の問題を背景とし、各企業・団体の採用意欲は高い状況が続いています。学生にとっては、「売り手市場」といえる傾向にありますが、求人倍率は業界・企業規模により大きく異なります。どの企業に就職するにせよ、入社後の企業とのミスマッチを防ぐためにも、学生は就職活動の準備として、自己分析や業界・企業の研究を早めにスタートする必要性がますます高

まっています。

多くの企業では、本選考とは別にインターシップをはじめ、業界研究セミナーや会社説明会等を実施しています。効率的な就職活動を進めるためには、志望業界を絞ることは大切な要素の一つです。しかし、あまり早いうちから1つだけに絞るのではなく、少しでも興味のある企業があれば、積極的にその業界全体を研究することも大切です。

また、WEBから様々な情報を得られることは大変便利ではありますが、社会経験の少ない学生が、正しい情報を自ら選び取ることは、ますます難しくなっています。学生が説明会に足を運び、自らの目で会社を確認し、OB・OGに会い、正確な情報を入手することは不可欠です。

就職することは、長い人生の中での新たな一つのスタートです。そのスタートを成功させるために、就職課を最大限ご活用ください。

就職動向について（教員・公務員）

公立学校教員採用試験は7月上旬から実施されました。平成29年度の卒業生のうち教員になった者は就職者の約3.9%（43名）でした。

平成29年度の公務員採用試験は、国家総合職が4月下旬、国家一般職が6月中旬、地方上級は6月下旬以降順次、実施されました。平成29年の卒業生のうち公務員になった者は就職者の約10.5%（115名）でした。公務員になるためには、筆記試験と論文、面接などの試験があります。ここ、2～3年、多様な人材を確保するために、人物面の評価を重視する傾向があります。筆記試験の負担を軽減するいわゆる「新方式」の試験を実施する自治体も増加傾向にあります。

就職課では、教員志望者のために、教育委員会による採用選考試験説明会を実施し、最新の採用動向や試験情報を入手しています。また、志願書や論作文の書き方、模擬授業、集団面接、集団討論などの試験対策講座を開講しています。公務員志望者のために、学内に予備校の公務員試験対策講座を開講しています。一人ひとりに適した助言を行なうために、学年を限定せずに早い段階から就職相談にのっています。

平成30年度 学群・学類3年次・修士1年次向け就職ガイダンス 予定（企業・団体）

実施日時	開催場所	ガイダンス・講座名	講座内容
30.10.3 (水) 30.10.10 (水) 15:15～16:30	大学会館講堂 1H棟講義室	ここで差がつく！ 就職活動のための基礎知識セミナー	就職活動までにやっておくべきこと (OB・OG訪問、職種研究、マナー等)を確認。
30.10.17 (水) 15:15～16:30	1H棟講義室	就職活動準備講座① ～自己分析をやってみよう！～	自己分析の多様な手法を理解し、 その目的や重要性を整理。
30.10.24 (水) 15:15～16:30	1H棟講義室	就職活動準備講座② ～業界・企業研究のための基礎知識～	業界・企業研究の重要性を説くと共に、 BtoB企業・優良中小企業等の魅力を解説。
30.11.7 (水) 15:15～18:00	大学会館ホール	就職活動準備講座③ ～業界研究セミナー～	各業界の人事担当者・OB・OGが来学し、 業界研究セミナーを実施。
30.11.14 (水) 15:15～16:30	1H棟講義室	就職活動準備講座④ ～就活筆記試験の傾向と対策～	テストセンター、WEBテスト、玉手箱等、各種テストの 概要や、人事のチェックポイントについて解説。
30.11.21 (水) 15:15～16:30	1H棟講義室	就職活動準備講座⑤ ～内定獲得のためのES対策をしよう～	エントリーシートの書き方や、自己PR・学生時代に 力を入れたこと等のポイントについて解説。
30.12.5 (水) 15:15～16:30	1H棟講義室	就職活動準備講座⑥ ～面接までに必ず知っておくべきこと～	面接での注意点や話し方など、 人事が見ているポイントについて解説。
30.12.12 (水) 15:15～16:30	1H棟講義室	就職活動準備講座⑦ ～グループディスカッションを学ぼう～	グループディスカッションでの注意 点や、発表方法のポイントを解説。
31.1～3月 時間：未定	1E棟講義室	実際に挑戦しよう！～就職活動準備実践対策～ (ES・面接・GD編)	事前課題をもとに、 ES・面接・GDの実践対策を実施。

平成30年度 学内企業説明会

日時	会場	内容	備考
31.2.28 (木) 31.3.1 (金)～ 時間：未定	1H101 講義室 (2/28) 大学会館 (3/1～)	事前セミナー 学内企業説明会	計10日間 実施(予定) ブース形式 約700社出展

※講座・説明会は日時・開催場所等の変更が生じる場合がありますので、事前に「就職課ホームページ」(http://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/)にて確認してください。

平成29年度 卒業生・修了者の進路状況

学群・学類	卒業生	進学者	就職者	就職者の内訳					その他
				企業	教員	公務員	独法等	研修医	
人文学群	人文学類	120 (58)	17 (1)	75 (41)	58 (29)	2 (2)	13 (8)	2 (2)	28 (16)
	比較文化学類	85 (56)	10 (5)	67 (45)	54 (40)	4 (2)	9 (3)		8 (6)
	日本語・日本文学類	40 (30)	5 (4)	30 (23)	23 (17)	2 (1)	3 (3)	2 (2)	5 (3)
国際社会学群	社会学類	106 (38)	16 (6)	78 (30)	67 (25)		10 (4)	1 (1)	12 (2)
	国際総合学類	98 (56)	12 (5)	73 (44)	63 (39)		6 (4)	4 (1)	13 (7)
	教育学類	39 (15)	12 (5)	22 (9)	13 (5)	3 (1)	6 (3)		5 (1)
学人間	心理学類	50 (27)	12 (9)	30 (14)	26 (12)		4 (2)		8 (4)
	障害科学類	35 (31)	11 (9)	17 (17)	10 (10)	2 (2)	4 (4)	1 (1)	7 (5)
	生物学類	87 (45)	64 (34)	16 (9)	11 (7)	2 (1)	2	1 (1)	7 (2)
生命環境学群	生物資源学類	142 (67)	100 (43)	29 (18)	20 (12)		9 (6)		13 (6)
	地球学類	60 (27)	40 (18)	14 (5)	10 (4)	1	3 (1)		6 (4)
	数学類	37 (2)	20	12 (1)	6	6 (1)			5 (1)
理工学群	物理学類	57 (6)	47 (6)	7	7				3
	化学類	51 (8)	40 (7)	11 (1)	10 (1)		1		
	応用理工学類	132 (19)	108 (14)	17 (3)	17 (3)				7 (2)
	工学システム学類	138 (18)	123 (16)	10 (2)	9 (2)		1		5
	社会工学類	130 (30)	72 (15)	51 (15)	48 (14)		3 (1)		7
情報学群	情報科学類	100 (6)	74 (3)	24 (3)	23 (3)		1		2
	情報メディア創成学類	71 (15)	36 (4)	31 (10)	31 (10)				4 (1)
	知識情報・図書館学類	107 (57)	18 (8)	77 (44)	62 (31)	1 (1)	11 (11)	3 (1)	12 (5)
医学群	医学類	120 (41)	1 (1)	116 (40)					116 (40)
	看護学類	82 (76)	10 (9)	68 (63)	52 (48)	3 (2)	13 (13)		4 (4)
	医療科学類	40 (28)	22 (12)	14 (14)	13 (13)		1 (1)		4 (2)
体育専門学群	250 (73)	61 (24)	161 (42)	133 (33)	17 (4)	11 (5)		28 (7)	
芸術専門学群	106 (85)	39 (31)	46 (38)	41 (33)		4 (4)	1 (1)	21 (16)	
学群合計	2,283 (914)	970 (289)	1,096 (531)	807 (391)	43 (17)	115 (73)	15 (10)	116 (40)	217 (94)

(注) ()内は女子を内数で示す

修士課程・博士前期課程・博士後期課程

研究科	修了者	進学者	就職者	就職者の内訳					研究員	職務復帰	その他
				企業	教員	大学教員	公務員	独法等			
教育	77 (26)	3	52 (21)	11 (5)	39 (16)		2			10 (4)	12 (1)
人文社会科学 修士	44 (23)	12 (7)	12 (6)	9 (4)			2 (2)	1		11 (6)	9 (4)
人文社会科学 前期	72 (50)	14 (9)	36 (21)	32 (19)			1	3 (2)		1 (1)	21 (19)
ビジネス科学 前期	66 (17)									65 (17)	1
ビジネス科学 専門職	33 (16)		1 (1)	1 (1)						30 (14)	2 (1)
数理工学 前期	246 (37)	22 (1)	210 (31)	193 (28)	8 (2)		8 (1)	1			14 (5)
システム情報工学 前期	463 (79)	31 (7)	376 (54)	362 (50)			8 (3)	6 (1)		3 (1)	53 (17)
生命環境科学 前期	277 (128)	42 (15)	164 (81)	136 (70)	4 (2)		19 (5)	5 (4)		3 (2)	68 (30)
人間総合科学 修士	107 (52)	16 (9)	42 (17)	39 (16)	1		1 (1)	1	1	29 (13)	19 (13)
人間総合科学 前期	353 (186)	58 (28)	149 (86)	109 (65)	19 (11)	4	16 (9)	1 (1)	2	41 (18)	103 (54)
図書館情報メディア 前期	59 (29)	4 (2)	44 (20)	39 (17)		2 (1)	1 (1)	2 (1)		4 (2)	7 (5)
グローバル教育院 前期	8 (4)	3 (2)	1 (1)	1 (1)					1		3 (1)
博士前期・修士 合計	1,805 (647)	205 (80)	1,087 (339)	932 (276)	71 (31)	6 (1)	58 (22)	20 (9)	4	197 (78)	312 (150)
博士後期 合計	466 (158)	6 (2)	171 (53)	86 (18)	8 (4)	41 (17)	7 (1)	29 (13)	66 (18)	131 (35)	92 (50)

(注) ()内は女子を内数で示す

医師国家試験

第112回(平成29年度実施)医師国家試験の状況

試験日	受験者(人)	合格者(人)	合格率	備考
平成30年2月10日～ 平成30年2月11日	120	114	95.0%	今年度卒業生
合計	122	115	94.3%	過年度卒業生

採用企業ランキング

順位	企業名	人数	順位	企業名	人数
1	株式会社日立製作所	18人	6	日産自動車株式会社	10人
2	日本電気株式会社	16人	6	本田技研工業株式会社	10人
3	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ(NTTデータ)	13人	10	株式会社リコー	8人
3	パナソニック株式会社	13人	10	キャノン株式会社	8人
5	ヤフー株式会社	11人	10	シャープ株式会社	8人
6	ソニー株式会社	10人	10	日本放送協会(NHK)	8人
6	富士通株式会社	10人	10	野村證券株式会社	8人

学生同士の支え合い～ピア・サポートとは 学生相談室 田中 崇恵

大学生にとって相談しやすい相手とは誰なのでしょう。筑波大学における平成29年度学生生活実態調査では、学群生の主な相談相手についてアンケートをとっています。相談相手として1番に「家族」を選ぶと答える学群生は、学年によって多少のばらつきはあるものの概ね40%と最も高く、家族を支えとしている学生が多いということが分かります。一方で、「友人」「先輩・後輩」を相談相手として1番に選ぶという回答を合わせてみると40%を超えるほどの割合になります。大学生活のほとんどをキャンパスで過ごす学生にとって、友人や先輩・後輩といった仲間が大きな支えになっているということがいえるでしょう。

そこで昨年度より学生支援の新たな試みとして筑波大学で動き出したのが「ピア・サポート」です。ピアとは「仲間」を意味する言葉です。つまり大学におけるピア・サポートとは「学生同士の支え合い」の活動を意味しています。この活動は学生の視点から「困ること」「悩みごと」「こうだったらもっといいのにな」ということを見つけてもらい、それを学生の自主性とアイデアで解決していってもらおうということを目指しています。

本学のピア・サポート活動は学生相談室を活動拠点に動き出したばかりですが、現在はどんな悩みごとでもつぶやきでもポストに入れればピア・サポーターがお返事してくれる「つぶやきポスト」の活動を中心に行っています（中央図書館に設置されていますので是非ご覧になってください）。学生たちの飾らないつぶやきに対し、同じ学生の視点から時には励まし、時には一緒に悩み…と非常に魅力的なやり取りがなされています。ピア・サポートでは支援を求める学生だけでなく、支援をする学生にとっても成長するチャンスがたくさんあります。本学には保健管理センターをはじめとして相談を担う様々な専門家がいますが、外的に組織を整えていくだけでなく、学生同士が困ったときに支え合える、もっと言えば「困ったなあ」ということを気軽に言い合える、そういう雰囲気や育まれていくことが大切だと思えます。

筑波大学の風景



松美池の水辺に咲く紫陽花

桐の葉日記

関東甲信地方の梅雨は6月中に明け、厳しい暑さが続いております。ふと道端に目をやると、つい3か月前には小さな種や芽だった草木は、この季節を待ちわびていたかのように日ごとに背丈を伸ばしています。

入学式が終わり、各サークル・部活動の新入生歓迎祭がありました。私も1年前にここで歓迎されたことを思い出し、大学に入ってから前にも増して時間の経過する速さを実感しました。初めは慣れない大学生活に困惑する毎日でしたが、宿舍祭や雙峰祭などのイベントを通じて仲間との絆を深められたこの1年は、大変貴重なものとなりました。入学式では1年前の私と同じように不安げな表情をみせていた今年の1年生も、宿舍祭では食べ物を売ったり、ステージ上でパフォーマンスをしたりと、一回り遅しくなって見えました。

今回で第9号となる紫峰の風の特集では、「筑波大生の夢」を取り上げました。総合大学ならではの、教師になりたいという学生もいれば、研究者になりたいという学生、スポーツ選手になりたいという学生まで、非常に幅広い回答がありました。幼稚園生や小学生の抱く夢のニュアンスとは異なり、多くの学生が各々の将来を真剣に考えており、夢という言葉に重みを感じました。夢の実現には時に大変な苦勞が伴うことがあります。私にも夢がありますが、その夢はたやすく達成できるものではないと思っています。まだ私たち「筑波大生の夢」は種にしか過ぎませんが、雨風に耐えながら背を伸ばし、いつか花を咲かせられるように一日一日を大切に過ごしていきたいものです。

(文責/医学部会執行委員会広報局長 徳永光太郎・医学2年)

大学広報物のリンク集

筑波大学新聞

編集：筑波大学新聞編集部

発行：筑波大学

最新号：第342号 2018.5.21発行

<http://www.tsukuba.ac.jp/public/newspaper/shinbunindex.html>



TSUKU COMM [ツクコム]

編集・発行：筑波大学広報室

最新号：vol.40 2018.07.05発行

<http://www.tsukuba.ac.jp/public/booklets/communications/>



Students

編集：学生生活支援室

発行：筑波大学学生部学生生活課

最新号：30年度No.2号

6月-最終号-(通巻679号) 2018.06.21発行

<http://www.tsukuba.ac.jp/public/students/index.html>



筑波スポーツ

編集：筑波スポーツ編集部

発行：筑波大学体育会

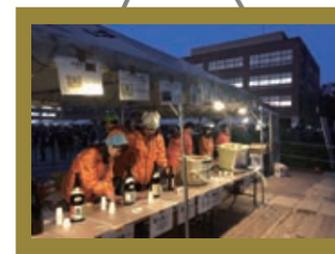
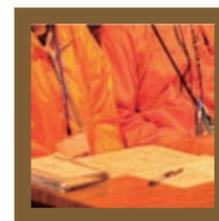
最新号：第173号 2018.4.2発行

https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~taiikukai/tsukuba_sports



雙峰祭紹介

11月2日(金)～4日(日)に筑波大学学園祭「雙峰祭」が今年も開催されます。筑波大学の一大イベントである雙峰祭は、今年度で第44回を迎えます。本学の特徴である広大なキャンパスを活かし、模擬店・ステージパフォーマンス・学術企画などが多数開催されます。今年度の雙峰祭のテーマは、「#つくばえ」です。この言葉は、「つくば」と「インスタ映え」をかけた造語です。緑あふれる景色や、興味関心を掻き立てる企画、会場が一体となるパフォーマンスはもちろん、雙峰祭全体によって表現されるのが、「つくば」らしさです。この「#つくばえ」の下で、「つくば」の魅力を発信・受信していただければと思います。筑波大学の魅力が凝縮された濃い三日間、皆様のご来場を心よりお待ちしております！



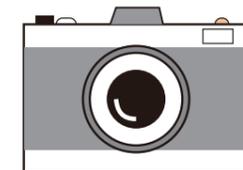
イチオシ企画紹介

つくばイチ受けたい授業

つくばイチ受けたい授業とは、実際に筑波大学の学生が受けている授業を来場者の方々に体験していただく企画です。本学の先生方に協力していただき、様々な分野の模擬授業を行っていただきます。普段聞くことのない大学の授業を受けられる貴重な機会となっています。また、学術的魅力を伝え、味や関心をもっていただければ幸いです。授業に参加することで本学の特色を知るチャンスです！ぜひご参加ください。

樽酒振る舞い

樽酒振る舞いは、茨城県で作られた地酒を20歳以上の来場者の皆さまに無料で配布する企画です。茨城県のおいしいお酒を味わっていただくことはもちろん、地域交流を促進し、筑波大学と地域の繋がりをより深める機会となることを目的としています。例年、約3000人の方に来場いただき、ご好評をいただいております。今年も、様々な種類の地酒を配布する予定です。ぜひ、雙峰祭当日は「樽酒振る舞い」で茨城のお酒をお楽しみください！



筑波大学学園祭
雙峰祭
筑波大学紫峰会基金後援
#つくばえ
2018年
11/2, 11/3, 11/4

第2期分授業料納付期限日のお知らせ

平成30年度第2期分授業料の納付期限日は次の通りとなります。口座引落の方は11月26日(月)までに指定口座へご入金下さい。また、引落口座の手続きを行っていない方に対しては、専用の振り込み用紙を送付しておりますが、原則として口座引落による納付としておりますので、来年度以降の納

付のために口座引落手続きをお願いします。
金額 267,900円(ただし、法科大学院は402,000円)
引落日 11月27日(火) 納付期限 11月30日(金)
■お問い合わせ 財務管理課出納担当(収入)
029-853-2161

宿泊施設・館内食堂のご案内

筑波研修センター

- ・1泊3700円より(食事別)
- ・シングル145室・ツイン5室・和室5室

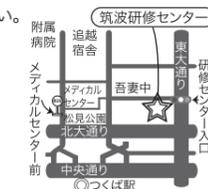
筑波大学同窓会「茗溪会」の関連法人「(一財)筑波学都資金財団」が運営する宿泊施設です。電話予約は7時から24時まで受け付けています。割引対象の方は予約受付の時に申し出ください。

館内食堂 こうせい

- ・朝食300円より
- ・定食750円より

バイキング形式、懇親会、パーティも承ります。内容、料金など気軽にご相談ください。(座席80明・立食可)

紫峰会基金協力者と
旧紫峰会会員の方は
1泊200円割引します



〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-13-5
Tel 029-851-5152 Fax 029-851-8836
E-mail center@meikei.or.jp
URL <http://www.meikei.or.jp/~center/>

紫峰の風 第9号 2018年7月発行

発行 事業開発推進室

編集 学生部学生生活課

学生広報会議

山岸素子・知識2年、舟久保拓哉・情科2年

川村風太・生物3年、戸口海人・比文2年

安斎彩季・創成2年、十川澄・資源2年

徳永光太郎・医学2年

広報部会

黒川真臣・生命環境3年、米山和文・数理物質2年

仲清峻・知識4年

タイトルロゴデザイン 塚本真理(芸専2016年度卒)

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

電話:029-853-5886

E-mail:gk.shihokai@un.tsukuba.ac.jp

特集 | 筑波大生の夢

就職活動、教育実習、大学院入試といった大学卒業後の進路に関わるような言葉を良く耳にする季節になりました。

自分自身の進路を決めるといのは本当に難しいものですね。でも就職も進学も自分の夢を叶える過程のほんの一部ではないでしょうか。

学生の多くは自分の夢を抱いて筑波大学に入学してきたり、あるいは大学生活の中で叶えたい夢を見つけてそれに向かって努力を積み重ねている最中だと思います。

今回はそんな「筑波大生の夢」をテーマに、学生がどんな夢を持っているのか、その夢の実現に向けて大学生活でどのようなことに取り組んでいるのかを調査しました。



体育専門学群3年 齋田 武蔵さん

Q1 蹴球部での活動内容や今大学で興味を持って学んでいることを教えてください。

A1 蹴球部で自分は副主務という役職に就いていて、部活の運営面でもチームを支えています。蹴球部のプロモーションチームの一員として取り組んだスポンサーを集める活動を通して、お金の大切さを知ったり、社会の人たちの考えに触れることができました。大学ではスポーツビジネスやスポーツマネジメントなど経営に関することに特に興味を持って学んでいます。

Q2 大学での経験が自分の将来を考える上でプラスになっていることはありますか。

A2 自分は小さい時はプロサッカー選手になりたいと思っていましたが、大学の授業や、蹴球部の運営に携わる中でサッカーのプレー以外のことにも魅力を感じるようになりました。そういうこともあって将来は自分の経験を活かして人と人を繋げるような仕事も良いなと思うようになりました。

Q3 齋田さんの将来の夢は何ですか。

A3 将来は保健体育の教師になりたいと思っています。ただの教師ではなく、お金の大切さや社会のこと、プレー以外の大切なことを教えられるような魅力ある教師になりたいです。幅広い経験があるのが自分の強みだと思うので活かしていきたいですね。幸い、今自分はいろいろなことができる環境にあるのでそれらを全力でやらない手はないと思います。

「筑波大生の夢」について調べるためのアンケートを作成したところ145人の筑波大生から回答を得ることができました。

アンケートの質問

- 「将来就きたい職業と将来の夢の違いをどう考えますか?」
- 「将来就きたい職業はなんですか?」
- 「将来の夢はありますか? またそれはどのような夢ですか?」
- 「夢の実現のため大学生活でどのようなことをしていますか? あらゆるどのようなことをしようと考えていますか?」

日本語・日本文化学類 1年

- 質問1:** 将来就きたい職業は、将来の夢を叶えるための手段。必要なお金を貯める、技能を磨くなど。
- 質問2:** 日本語教師
- 質問3:** 世界中の国を巡って、物語を書く。
- 質問4:** 外国語を勉強する。大学生のうちに、日本語を除いて3カ国語話せるようになりたいと思っている。

物理学類 1年

- 質問1:** 職業は夢を叶えるための手段の1つにすぎず、夢という目的を叶えるために職に就くのだと思う。
- 質問2:** 国立天文台研究者
- 質問3:** ダークマターなど未だ詳細不明な宇宙の物質を観測すること
- 質問4:** 物理学含め広い分野を学ぶことで必要な能力を身につけ、実際に国立天文台が主催するイベントなどに足を運び、夢をより具体的なものにしていきたいと考えている。

生物資源学類 1年

- 質問1:** その職業になることが夢ではなくて、その職業で何をしたいのかが夢だと思う。また将来の夢は職業絡みでなくてもいいと思う。
- 質問2:** 土壌の研究者
- 質問3:** 乾燥地の土壌を研究し、その技術を活かし途上国における農業の生産性をあげたい。そしてその土地の人々の暮らしに貢献しつつ、一緒に生活を送りたい。
- 質問4:** 他学類の授業も積極的に受け、多方面から途上国の問題にアプローチできるようにしたい。

生物学類3年 Seminario Mondejar Gonzalo Alfredo さん



Q1 日本で生物学を学ぼうと思ったのはなぜですか。

A1 ペルーの学校で勉強していた頃に科学の専門的な内容について扱う授業があったのですが、その時説明していた分子生物学の内容にすごく興味を持って、もっと深く分子生物を学びたいと思いました。でも、ペルーでは農学や環境学の研究がメインでした。そんなとき、分子生物学が盛んで、当時IPS細胞の研究で有名だった日本に魅力を感じ日本に留学することを決めました。

Q2 これから力を入れて取り組みたいことや目標などはありますか。

A2 今は分子生物学以外にもウイルス学や医学にも興味があり、それらの知識を重ねています。将来は研究者になりたいと思っていますが、その時に自分の本当にやりたいテーマの研究ができるように日々の選択肢では最善のものを選ぶように心がけています。また自分の専門とする研究分野では一番になりたいという気持ちがあり、今経験や知識を広げることは将来活躍できるかにつながると感じています。

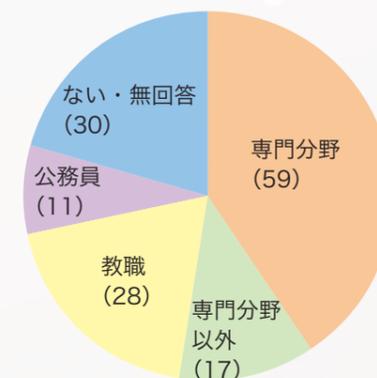
Q3 Gonzaloさんの将来の夢は何ですか。

A3 自分が本当に好きな仕事をして、自分が死んだ後も自分の名前が他の人に覚えられるようなことがしたいです。そのために今できる一番良い選択を積み重ねています。でもそれより大事なのは多分家族を作って人生を楽しむことだと思います。

アンケートの回答結果 — 将来就きたい職業と将来の夢の全体の回答 —

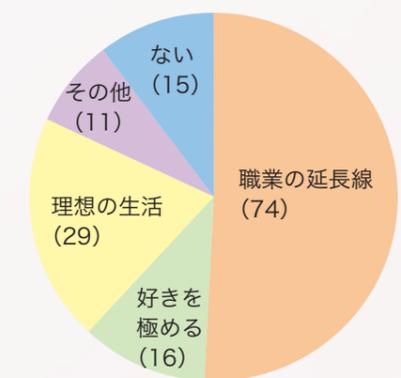
「将来就きたい職業はなんですか?」

回答では研究職や教職、あるいは漠然と学類で学んでいる専門分野に関わることといった回答が多く見られました。全体として自身の専門を活かせる職業に就きたいという傾向が強い印象がありました。



「将来の夢はありますか? またそれはどのような夢ですか?」

自分の就いた職業で成し遂げたいことを挙げた学生が多かったですね。一方で田舎でのんびり暮らしたいといった心が和むような個性のある回答もありました。



芸術系サークル連合会活動紹介 ～芸サ連をもっと知りたい～



撮影の様子

ViCC -映画をつくる会-

Visual Creators Club略してViCC(ピック)はその名の通り自主映画を撮っていますが、映像作品全般、会員が映像で表現したいことなら何でもやっています。撮影はもちろんのこと、演技、脚本、編集、演出など最初から最後まで自分達で手がけているのが面白いところです。普段の活動は主に毎週木曜のミーティングと班または個人による活動になっていて、雙峰祭を含め年に数回の上映に加え映画のコンペティションに出品しているものもいます。

学生映画は商業映画のようにお金がありません。なのでド派手なアクションとかはないかもしれませんが。しかし学生にしか描けないこともあります。周りの目を気にせずそれぞれの葛藤や挑戦を作品にぶつけています。是非興味のある方は雙峰祭で足を運んでみてください。

(寄稿/ViCC-映画をつくる会-代表 田島大地・情科3年)



マンドリンパートの練習風景

ギター・マンドリン部

私たちギター・マンドリン部では、イタリア発祥の弦楽器であるマンドリンやクラシックギターを演奏しています。ポップスやクラシック曲、さらにマンドリンオリジナルなど様々な楽曲を、少人数のアンサンブルから部員全員での合奏まで様々な形態で幅広くやっています。部員には経験者だけでなく、大学からの初心者も多く、部員同士教えあいながら練習しています。週3回の定期的な練習に加え、夏・冬・春には合宿も行っており、より良い演奏を目指して切磋琢磨しています。毎年2月には定期演奏会があり、その他にも学園祭でのコンサート、他団体とのコラボレーションや依頼演奏、部内での演奏会など学内・学外問わず、多くの場所で活動しています。

(寄稿/ギター・マンドリン部代表 下山凌央・心理3年)



合宿での一年生班の発表

JAZZ愛好会

始めまして! JAZZ愛好会です。私たちは、毎週金曜日のセッション、定期ライブ、夏合宿、学園祭、などを中心に活動しています。ジャズは即興演奏が中心の音楽で、非常に自由なものです。メインの活動のセッションでは、その場に集まったメンバーでその場で曲を決めて即興で演奏します。大会や賞などはありませんが、会員それぞれが思い思いに音楽に向き合い、楽しみながら活動しております。学園祭では軽食とともにジャズの演奏をお届けする企画を行っておりますので、お越しの際は是非お立ち寄りください。

(寄稿/JAZZ愛好会会長 紀平健登・心理3年)



春合宿の様子

混声合唱団

私たち混声合唱団は、常任指揮者の鈴木茂明先生のもと、「詩と音楽の密接な融合」が為された歌を客席へ届けることをモットーに活動しています。この春に18名の新入生を迎え、ただいま計53名で活動しています。12月8日(土)にノバホールにて行われる第43回定期演奏会に向けて、今年はおよそ30もの曲を練習する予定です。春休みには4泊5日の合宿でみっちり練習し、曲の完成度を深めることが出来ました。(写真はその時のものです。)7月16日(月・祝)にはアルスホールにてサマーコンサートを開催し、定期演奏会で披露する予定の曲の一部を演奏いたします。合唱以外の活動も楽しく行っており、先日筑波大学で開催された「スポーツ・デー」のソフトボール混合部門では第4位という好成績を収めました!

(寄稿/混声合唱団団長 渡邊千容・教育3年)

文化系サークル連合会活動紹介 ～文サ連をもっと知りたい～



遠征地で望遠鏡を使用している様子

天文研究会

私たち天文研究会は、主な活動として定例観望、写真撮影、プラネタリウム製作を行っています。

定例観望では、毎週決まった曜日に文化系サークル館の前で望遠鏡を用いて天体観望しています。つばの空は明るいですが、星座の並びを確認することや望遠鏡を用いることで星雲や星団を見られる場所へ遠征に行きます。遠征先では、会員の各々が写真撮影をしたり満点の星空を堪能したりしています。天文研究会のプラネタリウムは毎年雙峰祭で展示しています。プラネタリウム投影機の製作から展示する作品の作成まで全て会員が自ら行っています。

(寄稿/天文研究会会長 柄澤聖吾・物理3年)

図画団

図画団とはサークルとしては学内唯一の美術団体で、絵画や立体造形など、美術に関する作品を幅広く制作するサークルです。週に1度ミーティングを行い、今後の活動について話し合ったり、さらに前の週にテーマを決めておき、そのテーマに沿った絵を描いてきてみんなで批評をしあったり、クロッキーという絵の練習をしたりすることで、みんなでコミュニケーションを取り合い団員同士の仲を深め、かつ団員の画力や表現力の向上を目指しています。サークルはいつも和やかな雰囲気、幼いころから絵を描いていた方や、大学から美術を始めた方まで、分け隔てなく楽しく過ごしています。ミーティングの他にも、みんなで美術展に足を運んだり、クリスマスパーティーを行ったりと積極的に活動しています。また、年に2回、6月～7月の時期、また11月の学園祭の時期に、他の学生や一般の方々に作品を公開する展示会を行っており、団員は普段から展示会に向けて各自自主制作に励んでいます。展示会では毎年多くの方が作品を見に来てくださり、団員一同、作品制作の励みになっています。夏休みには図画団のみんなで旅行に出かけます。去年は箱根で一泊二日し、観光地を満喫したり、美術館で素敵な作品とふれあい良い刺激を受けることができました。これからも図画団一同、楽しみながらサークル活動を続けていきたいと思っています。

(寄稿/図画団団長 石神圭祐・応理2年)



追い出しコンパで祝福される卒業生

社会福祉研究会

社会福祉研究会は児童養護系、障害者福祉系、高齢者福祉系、学校教育系の4系統8グループにわかれてボランティア活動をしています。児童養護系のグループは児童養護施設に赴き、子どもたちに学習指導を行い、障害者福祉系のグループは障害者支援施設に赴き、利用者さんと学生企画のレクリエーションをしています。また高齢者福祉系のグループは高齢者支援施設に赴き、利用者さんの生活の手伝いや介助をしており、学校教育系のグループはつば市内の中学校に赴き、学習チューターをしています。これらの活動において周囲からは高評価を頂いております。詳しくは社会福祉研究会のwebページをご覧ください。

<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~syahuku/>

(寄稿/社会福祉研究会会長 中山元気・教育3年)



学園祭フィナーレ

マジシャンズクラブ

当サークルでは、お客様に目の前で不思議を体験してもらうクローズアップマジック、複数人のお客様にちょっとしたショーを行うサロンマジック、舞台上立って大勢の方を魅了するステージマジックなど、発表の場に合わせた様々なマジックの腕を日々磨いています。

8月に行われるまつりつば、11月に行われる学園祭企画、2月に行われるウィンターマジックショーなど、1年生のうちから多くの発表の場があり、毎年たくさんのお客様に楽しんでいただいています。部員のほとんどが大学から手品を始めますが、互いに手品の腕を高めあい、マジックショーでは大きな歓声をいただいています。

(寄稿/マジシャンズクラブ会長 伊藤智也・数学3年)

全学学類・専門学群代表者会議活動紹介 ～全代会をもっと知りたい～

議長団



学長と全代会構成員との懇談会（茶話会）の様子

「紫峰の風」をお読みの皆様、日頃、全学学類・専門学群代表者会議(以下、全代会)へのご信任とご支援をいただきましてありがとうございます。この度、平成30年度全代会議長に就任いたしました、情報学群知識情報・図書館学類2年次の四家武彦(しけたけひこ)と申します。この場をお借りして着任のご報告をさせていただきます。

“魅せる全代会”を行動理念として、各方面から信頼され機動力があり、結果を残せる全代会を目指すという公約を掲げ、4月末から新体制で活動に取り組んでおります。議長としても一構成

員としても嬉しいこともあれば、つまづいたり上手くいかないことも多々ありますが、周りに助けられたり自力を出したりしながら日々前へ進んでいる状況です。

議長団は議長の私と、副議長に生物資源学類3年の石川貴嗣と社会学類2年の菱沼香織がともに着任しております。この3名で全代会の包括的な職務や各種会議の運営、委員会間や構成員間の調整を行ってまいります。全代会の構成員全員が歩調を合わせ学内の諸課題に対処しやすい状況や体制作りを努める方針です。

学内には全代会の他にも体育会や文化系サークル連合会、芸術系サークル連合会など、学生の生活をより豊かに意義あるものにするため、複数の組織が活動しております。全代会はこのような組織とも密に連携し、共に学生生活を支えてまいります。

日頃お読みいただいている皆様におかれましては、私共の活動にご理解とご協力をいただきまして感謝申し上げます。今後も全代会として学生ひいては筑波大学に新たな提案を行っていくよう活動してまいります。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

(寄稿/全代会議長 四家武彦・知識2年)

広報委員会

<委員会の紹介>

広報委員会は全代会及び委員会の活動、学生に有益な情報を、全代会の広報誌「Campus」をはじめとする様々なツールを通して発信することを目的として活動しています。委員はそれぞれ編集部と制作部に分かれて活動しています。

編集部は全代会の広報誌「Campus」の取材、記事執筆およびレイアウトを担当します。

制作部は全代会や各委員会の活動をより効果的に広報するため、視覚効果の高いデザインを考案・制作します。主に全代会の広報誌「Campus」の表紙や、他の委員会から委託されたポスターやピラの制作などを行います。

<活動の紹介>

全代会の広報誌「Campus」の制作が主な活動となっています。部に分かれて行う全代会の広報誌「Campus」の制作以外にも、部を定めない業務として、各行事や本会議、意見聴取会での写真撮影といった、全代会の活動の記録も行っています。

また、広報委員長を主体として、Twitterを用いた全代会の広報活動を行っております。利用方針や運用方法について広報委員会だけでなく他の委員会に所属する全代会員とも話し合い、協力して運営しております。そのほか、新しく全代会を広報するためのポスターを作成することも検討しております。

総務委員会

<委員会の紹介>

総務委員会は、会議運営の補佐を行い、また情報を整備するという側面から全代会の円滑な運営を支えることを目的として活動しています。委員はそれぞれ事務部門と情報部門に分かれています。

事務部門では、物品購入申請やそれに伴う会計業務、教室利用申請、会議に用いる資料の印刷や人事管理など、全代会全体に係る業務を行っています。

情報部門では、全代会室のネットワーク環境の整備やパソコン機器、コミュニケーションツールslackの管理、課外活動団体を利用するSTBサーバの管理やWebページ学生委員会への委員派遣、また全代会ホームページの管理などを行っています。

<活動紹介>

事務部門では昨年より、委員が活動のやりがいを感じられるようにすることを目的として、委員一人に対して一つの役割を設け、一人一人が継続して行う業務を持つようにしました。今年度もこれを継続して行いたいと思います。

情報部門では、昨年に引き続き全代会ホームページのリニューアルを行う予定です。またコミュニケーションツールslack上に情報部門に問い合わせができる場を設け、依頼に対して早急に対応するよう努めます。

学生の一週間

ここでは、学生2名の一週間のスケジュールを例に、筑波大生が実際にどのような生活を送っているのかを紹介します。今回は秋学期Cモジュール(12月～2月)です。

2年生 Wさん

日本語・日本文化学類に所属する2年生のWさんは県外から自宅通学をしています。朝に活動のある体育系の部活に入っているため、1日の活動開始時間は早いようです。朝は電車でおにぎりなどを食べ、昼は学校のパン屋を利用することが多いのに対し、夜は家で家族と共に夕食をとっています。また、月に2・3回乗馬クラブのお手伝い(※)をしています。

	月	火	水	木	金	土	日
4		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
5	睡眠	通学	通学	通学	通学	通学	通学
6							
7	朝食	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動
8	通学						
9				授業			
10	授業	授業	授業		授業		
11	昼食	部活動	昼食	昼食	昼食	帰宅	
12			課題			昼食	部活のバイト(※)
13	授業	友人と歓談、課題	授業		授業	昼寝	
14							
15				授業			
16	委員会業務	部活動	委員会業務			課題・委員会業務	
17		部活ミーティング			委員会業務		帰宅
18	委員会会議		帰宅	委員会会議	帰宅	風呂・夕食	
19		帰宅					風呂・夕食
20	帰宅	風呂・夕食	風呂・夕食	帰宅	風呂・夕食	娯楽	娯楽
21				風呂・夕食			
22						娯楽	娯楽
23	風呂・夕食			風呂・夕食			
0							
1	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
2							
3							

2年生 Mさん

比較文化学類に所属するMさんはアパートに一人暮らしで、二つのサークルに所属しています。朝昼は購入したパンで済ませています。夕飯は、月曜と水曜はサークルの活動のあと外食へ、火曜と木曜と日曜は自炊、金曜と土曜はバイトの賄いだということです。空き時間は図書館にいるほか、買い物や遊びに出かけたりしています。

	月	火	水	木	金	土	日
4				睡眠	睡眠		
5	睡眠	睡眠	睡眠			睡眠	睡眠
6				支度・通学	支度・通学		
7							
8				授業	授業		
9	支度・通学	支度・通学	支度・通学			読書・課題	
10		授業	授業				読書・課題
11	昼食	昼食		昼食	昼食		
12						昼食	昼食
13	授業	授業	友人と歓談	授業	授業	読書・課題	読書・課題
14							
15					読書・課題		
16							
17							
18	サークル①	サークル②	サークル②	読書・課題	サークル①	バイト(飲食)	夕食
19					読書・課題		
20	帰宅・夕食	帰宅・夕食		帰宅・夕食	バイト(飲食)	帰宅・風呂	読書・課題
21	友人と歓談	読書・課題	帰宅・夕食	読書・課題			
22							
23	風呂	風呂	風呂	風呂			
0					帰宅・風呂		風呂
1	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
2							
3							



新歓演武の様子

鹿島神流武道部

鹿島神流武道部とは、鹿島神宮に所縁のある古武術『鹿島神流』の稽古を通じて、伝統文化の継承と構成員一人一人の心身の錬磨を目的として活動している団体です。通常の稽古では剣術と柔術を基本に、薙刀術や懐剣術、杖術といった様々な武具を用いた武術の稽古も行っております。一般的な競技でいうところの試合や大会に該当するものはありませんが、学内外でのイベントなどで演武を披露しています。部員は全員、大学に入学してから鹿島神流を始めましたが、互いに切磋琢磨しながら、真剣に稽古に取り組んでいます。今年は例年よりも多くの新入部員を迎え、稽古場は以前にも増して活気に溢れています。上級生は新入生に部活の楽しさ・面白さを伝えながら、自分たち自身もより高みを目指して一所懸命に武術の習得に励んでいます。

(寄稿/鹿島神流武道部主務 松井恵・心理3年)



江の島での練習の様子

ヨット部

私たちヨット部は週に2回霞ヶ浦の土浦新港、そして長期休暇の時期には日本のヨットの聖地である葉山や江の島で合宿を行い、関東学生ヨット選手権大会決勝出場を目指し日々練習しています。ヨットは大海原を舞台にレース方式で勝敗を決める競技であり、オリンピックでも歴史ある種目の一つです。また、風向きや潮の流れのよみなどが勝敗を分け、体力だけでなく知力と経験が必要とされるスポーツです。ヨットは、日本では競技としての知名度は低く、競技人口はあまり多くありません。我が部も現在4名と部員数が少なく大変なことも多いですが、OB・OGの方々にも支援していただきながら和気あいあいと楽しく活動しております。これからも皆さまの応援よろしくお願いたします。

(寄稿/ヨット部主務 岩井航平・応理4年)



組手練習

医学剣道部

医学剣道部は、今年度は8名の新入生を迎え、現在の部員数は24名となりました。毎週火・木曜夜に活動しており、さらに、1年間の活動の中で一番大きな大会である東日本医科学生総合体育大会(8月)の前には、早朝から特別な練習メニューを行い、部全体のレベルアップを図ります。昨年度の戦績としては、秋季医科系大学女子剣道大会・看護学生交流剣道大会で団体戦3位となり、後者の大会では個人戦優勝者も出ました。今後とも、短期集中型の練習を活かして、様々な専門分野所属の部員が互いに切磋琢磨して、大会での上位入賞・昇段審査合格を目指していく所存です。

(寄稿/医学剣道部主将 古藤慎之・医学3年)



2017年夏合宿の様子

アーチェリー部

私達アーチェリー部は、平日は火曜日と木曜日の18時30分～21時、週末は土曜日の8時30分～15時まで練習しています。大学内にアーチェリー場があるため、各々時間を見つけては自主練に励んでいます。長期休暇には週5日程練習しており、練習試合や合宿といったイベントもあります。現在は男子・女子共に関東大学対抗リーグ戦を2部で戦っています。部の目標は男子は1部昇格、女子は2部残留です。アーチェリーは個人種目の面が強いのですが、リーグ戦はチームの合計点で競う団体戦です。またアーチェリー部に入部する学生は未経験者であることが多く、先輩による指導が必要不可欠です。部員同士の交流を深め、切磋琢磨しながら良い成績を残せるよう頑張っていきたいと思えます。

(寄稿/アーチェリー部主務 坂倉健吾・応理3年)



練習風景

体操競技部

私たち体操競技部にとって、夏という季節が一番大切な季節です。なぜなら1年の中で一番の目標としている全日本学生体操競技選手権が行われるからです。この大会によって大学体操界における筑波大学の位置づけが決まります。昨年の同大会が終わってから、秋、冬、春と常にこの大会を目標として練習を行ってきました。ここで結果を出さなければ今までやってきたことがすべて水の泡になるといっても過言ではありません。ただ、その大舞台で実力を発揮するための練習はしっかり行ってきました。昨年の同大会では男子は団体4位、女子は団体6位という結果でありましたが、今年は男女とも表彰台に乗ることができるよう日々練習に励んでいます。これから1年の中で、文字通り一番暑い季節がやってきます。

(寄稿/体操競技部主務 三好正道・体専4年)

企画記事「文学系サークルへインタビュー：小説創ってなにをしているの？」

筑波大学文化系サークル連合会には文学系創作サークルがいくつかあります。今回、そのうちの3団体、(1)筑波文学の会、(2)文芸部、そして(3)現代視覚文化研究会(以下、現視研)の小説班の代表にそれぞれ質問に回答して頂きました。普段、何をしているんだろう? と不思議に思われる方も多いその活動を聞いてみました。

Q1 団体の概要(活動日・活動場所・活動内容)を教えてください。

- 毎週火曜日の18時30分～21時に中央図書館セミナー室で活動しています。会員が執筆してきた作品の批評会がメインです。作品については事前にお題を決めたり制約を定めたりしますが、基本的に内容は問わず参加も自由です。
- 毎週木曜日の18時30分から図書館情報学図書館セミナー室や7A102教室など主に春日エリアで活動しています。普段の活動としては部員たちの書いた文章を持ちよって批評し合う読書会を行っています。活動後にはみんなでご飯に行くこともあります。
- 毎週月曜日に文化系サークル館(以下、文サ館)2階の現視研boxでミーティングを行っています。それぞれが今書いている小説やこれから書こうと思っている小説、今ハマっている小説の話をしたりそれぞれのネタを出し合ったりします。文サ館の閉まる21時まででは語り足らず、夕飯を食べにいてそのまま23時過ぎまで話してしまうこともあります。

活動日や場所だけでなく活動内容も批評会、読書会など少しずつ異なっています。長期休暇中の活動についても伺いました。筑波文学の会は上記の活動を週2回行い、文芸部と現視研小説班は活動を行わないということでした。また、文芸部は夏休みに合宿を行うそうです。

Q2 学外での活動があれば教えてください。

- サークル内で有志を募り東京で開催される文学フリマに出店することがあります。その際には雙峰祭・新歓祭と同様、冊子の有料配布を行います。
- 有志で文学フリマという文学作品展示即売会に参加しています。部員一人一人が熱意を混めて制作した個人誌や合同誌を有料配布しています。
- 小説班単体としての活動ではありませんが、夏コミと冬コミ(コミックマーケット)で会誌の頒布(有料配布)を行っています。会誌はイラスト・漫画班や製本班と協力して作成しています。

Q3 団体内での合同誌のようなものがあつたらどういうものか教えてください。

- 年2回、春と秋に合同誌を制作し、それぞれ新歓祭と雙峰祭で無料配布しています。通常活動と同様に作品の内容は様々ですが、各号ごとに特集テーマを決めそのテーマに沿った作品を収録しています。昨年の雙峰祭号の特集は「逃避行」、今年の新

- 歓祭号の特集は「いただきます」でした。
- 「樹林」という合同誌を年6回前後発行しています。「クリスマス号」など季節ごとのイベントと絡めたテーマで発行することもあります。
 - イラスト・漫画班と小説班が原稿を提出し、それを製本班が編集して作成しています。今年度はレビュー班や立体班からも原稿が出ています。会誌は年4回発行されています。内3つは夏コミ、雙峰祭、冬コミでの頒布用で、残り1つは会内配布用です。

Q4 作品のジャンルの特徴を教えてください。

- 会員によって好みが多岐にわたるので、ジャンルは小説だけでも純文学・SF・ファンタジー・青春・歴史・コメディなどかなり多岐にわたりますし、詩や評論を書く人もいます。そのため特徴を挙げるのは難しいですが、強いて言えばやや純文学寄りな印象の作品が多い気がします。
- 小説から詩、エッセイまで様々なジャンルが読書会で持ち寄られます。
- 特にありません。強いて言えばライトノベル風の小説が多いですが、総じて読みやすい短編を書く人が多いです。

Q5 他の2団体に対するイメージがあれば教えてください。

- (2団体とも)幅広い層の人が気軽に読めるタイプの作品を多く書いていらっしゃるというイメージがあります。ですが、詳しい活動内容や作品の特色などはあまり知らないの、お互いの活動についてもっと知る機会があっても面白いのではないかと思います。
- 筑波文学の会さんは、文章に対し真摯な人が集まっていてハイレベルな活動をしているという印象です。また装丁を他サークルさんとコラボしたりして素敵な合同誌を作られているイメージがあります。現視研小説班さんは、あまり関りがないのでわかりません。あるお題について3つのサークルそれぞれが文章を作って合同誌を作るとか面白いかもしれませんね。
- 私たちとは書いている内容がだいぶ違いそうだな、と思っています。私たち現視研小説班は軽く読める内容の短編を書く人が多いですが、他2団体の方々には純文学などを書かれているイメージがあります。交流会のような場所で普段書いている内容や執筆方法などを語り合えたら楽しいだろうな、と思っています。

同じ文学系創作サークルでもやっていることは意外にも違うように思いました。創作系サークル間の交流が薄いことも見受けられました。これを機に似通った活動をしている団体との交流を図ってみると新たな刺激が得られるかもしれませんね。

執筆:文サ連広報局長 山岸素子・知識2年
協力:筑波文学の会代表 近田涼馬・比文3年
文芸部代表 中村瑞歩・日日2年
現視研小説班班長 井口崇也・知識2年

医学水泳部

医学水泳部は現在総勢113名で活動しており主に月曜、水曜、土曜、日曜の水中練習、木曜の陸上トレーニングを行っています。昨年8月には東日本医科学生総合体育大会、関東甲信越大学体育大会に参加し、前者では女子総合優勝、男子8位、後者では女子総合優勝、男子2位に入賞することができました。医学水泳部には、上記のように大会で入賞する人から、ただ泳ぐのを楽しみたい人、あるいは体力づくりや健康のために大学から水泳を始めたという人まで、様々な泳力の人がいます。また、部活に対するお互いの考え方の違いを認め合い、尊重して活動していることも医学水泳部の特徴です。練習や大会だけでなく、他大学との交流や懇親会、旅行等も楽しみながら、それぞれの目標に向かって努力しています。昨年度を上回る成績を残せるよう、部員一同頑張っています。

(寄稿/医学水泳部主将 藤川岳・医学3年)



東日本医科学生総合体育大会での力強い泳ぎ